

マレーシア国際学会  
(IIUM-iCAST 2010)

International Conference on Advancement  
in Science and Technology

Venue: Vistana Hotel, [Kuantan](#) (26-29 November 2010)

## マレーシア・クアantan国際学会

Dr. Mohammad Tariqur Rahman 会長のもとに第3回「Science & Technology」の学会がKuantanで開催されると教え子から通知が来たので出席。

Tariqur はDhaka大学の卒業生で現在「International Islamic University Malaysia」の準教授であり、Dhaka 大学教授のAhsan の弟子で私の孫弟子にあたる。ベルギーのリエージュの大学で学位を取得したとのことで、私はブルッセルのパスツール研究所にいたことなどで話題がはずみ楽しい時間を持てた。

学会初日のパーティーではHuman Resource大臣やIIUMのDirector等の挨拶。

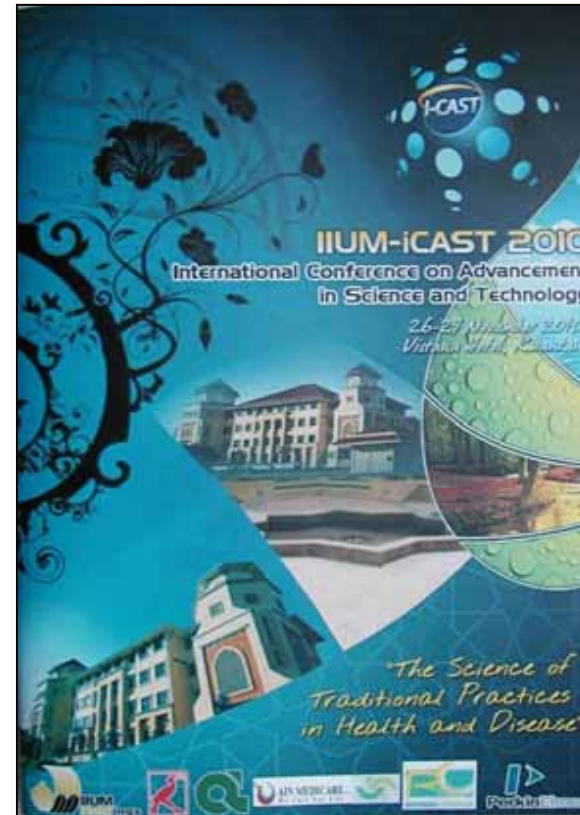
学会二日目、予定していたOmanのPlenary Speakerが体調不良で出席できなくなり、その代替りの発表をしてほしいとTariqurから相談を受け、私の演題二題のうちの一題を40分の講演にまわした。このようなハプニングはいつもある。

学会は「宗教と科学」が一体となったもので、このような学会は初めての経験であり大変に興味深く面白かった。

私の演題の一つは黒ニンニクの生物機能についての発表だったが、それについてマレーシアの会社からビジネスの話が持ち込まれた。彼らは十分な英語を駆使し熱意があった。英語を話せないとこれからは生きていけない。

前回のペナン学会と違い、今回は市内観光なしの勉強だけであった。

## 学会場となった「Vistana Hotel」とProceeding



## 学会場ホテルの正面入り口と会場案内ポスター



## Reception Desk で学会長のTariqurと



彼はダッカ大出身でAhsanの弟子であり、私の孫弟子にあたることを氏から聞いた。氏はアクチブな研究者で英語はネーテブと同じレベルである。

## Welcome Dinnerで挨拶するHuman Resource大臣の紹介



Human Resource大臣(女性代理)の挨拶は長かった。政治家としての自分の業績を全て話さなければ終わらなかったので一時間もかかった。

## Welcome Dinnerで最初に出てきたデッシュ



マレーシアは多国籍国民であるので、食べ物もその数だけあるとの説明を受けた。手前のデッシュは激辛度10であった。

## Welcome Dinnerでのイスラム女性のカラフルなテーブル



## Dinner でテーブルが一緒であったDr. Bazirganと



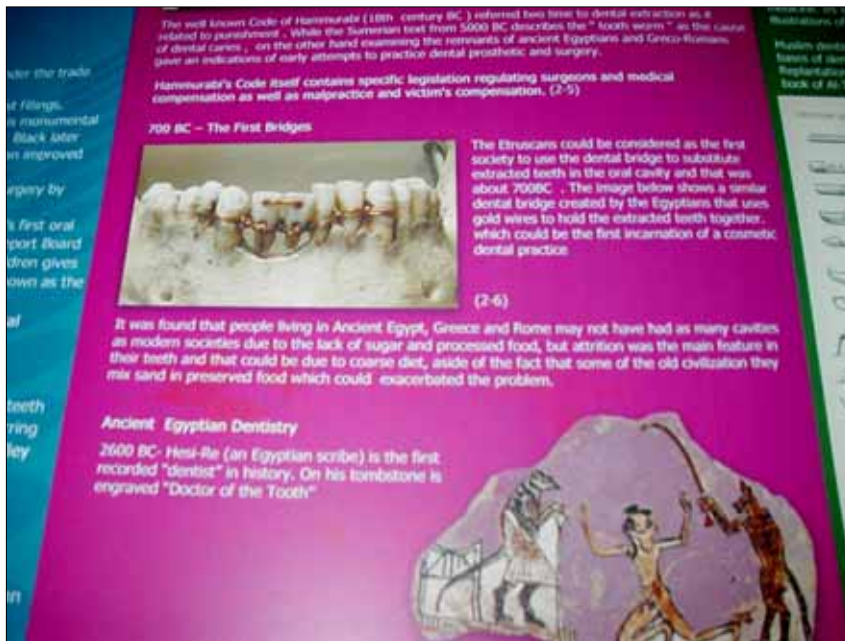
私の右隣のご婦人は招待されたハイクラスの女性のように、キチットした英語を話してくれた。

## 歯科医師でもある Dr. Bazirgan (学会場で)



氏はカメラが大好きで最新のキャノンのカメラを紹介された。マレーシアで買えばRM1000より安いのでこれから自動車で連れて行くからと言われたが都合がつかなかった。

# Dr. Baziharganの歯科治療歴史のポスター



歯に穴をあけ歯と歯をワイヤーで繋いでの治療もあったと。いまのブリッジに相当するのでしょうか。



柄が木製で先端に金属をセットしたドリルは数千年前には既にあったと氏は紹介していた。

# ホテル中庭で昼食を共にしたOxford大学のBodeker教授 (彼のユーモアは一流であった)



マレーシアのあと、インドに行き、その間にネパールに行くとのことであった。

## 「ホテル中庭」での昼食時にきれいな声で鳴いていた鳥

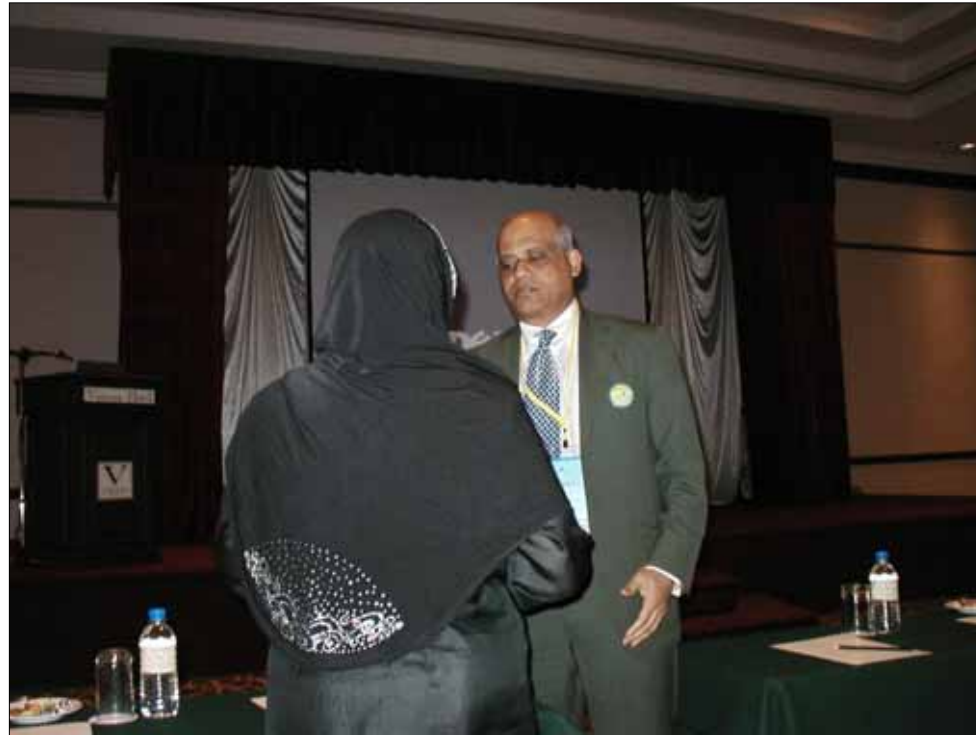


ブルッセルでよく見た「ピー」と呼ぶ鳥に似ていました。体は黒く、嘴は黄色でカラスのようでカラスではない鳥。

## 第二会場「Function Room」の発表風景



## Coffee Break の「Ball Room」会場で のDr. Hasan



Hasanはダッカ大出身で現在神戸でクルクミン(ターメリック)販売の会社を営している。在日年数は二十年以上とのこと。今会長のTariqurの先輩にあたりと言っていた。

## 本学会で研究奨励賞を受賞した二人の若手研究者と



口頭、ポスター発表の審査員を依頼され、この二人の研究にハイスコアをつけたが、たまたま二人とも受賞することになった。

Coffee Break に準備された食べ物です



バナナの葉で米を包み焼いたもので、中心部には味噌のようなものが入っており美味しかった。名前は忘れしました。

## 宿泊した部屋と窓から見えるクアンタンの遠望



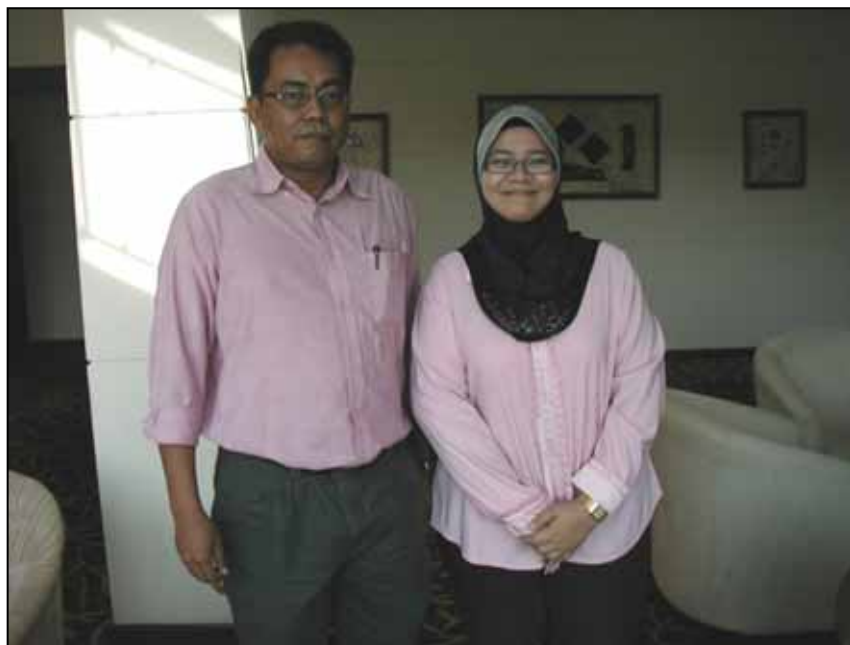
ホテルは大変良く泊5,000円ほど。朝食も、中国風、インド風、バングラデッシュ風など多彩で十分に楽しめた。

## ホテルの部屋で見た11から12月の天気予報

°C HIGH/LOW	30 TUE	1 WED	2 THU	3 FRI	4 SAT	5 SUN	6 MON
Perth	36 21	29 16	28 14	25 14	24 13		
Sydney	23 18	24 19	24 19	25 20	25 20		
Brisbane	27 20	26 19	26 19	27 20	27 20		
Cairns	31 23	31 23	31 23	31 24	30 22		
Auckland	24 14	22 13	20 12	21 10	19 14	WORLD	

マレーシアの天気をカメラで撮る予定であったが、映っていたのはオーストラリアの天気でした。タイミングはどうもよくない。

## 「黒ニンニク」のビジネストークでクアラ Lumpur からの 来訪者 (Adzhari & Rosma 夫妻)



日本の「黒にんにく」のマーケティングをしたいとのことで、プログラムを見て「黒ニンニク」の発表があるので来たとのことでした。アドバイザーを依頼され引き受けることになりました。

「これが日本で開発された黒にんにくです」



このまま食べられます。フルーツのように甘く、免疫活性化作用があります。  
この生理活性作用を学会発表してきました。人工添加物は全くありません。  
いま世界に広まりつつあります。

# ~ Black Garlic Malaysia ~

## Malaysia's first 1 stop center for Black Garlic...



Professor Jin-ichi Sasaki

**Professor Jin-ichi Sasaki DVM.PhD. was the professor of the Clinical Immunology, Hirosaki University. He is now a part time instructor in the Aomori University of Health and Welfare , Hirosaki University, Hirosaki University of Health and Welfare. He is also involve in the Journal of Food Science (USA) Reviewer.**

**Some advice from our advisor:-**

**\* The best time to consume Aged Black Garlic is before you go to bed. Since it is the best time for it to work in your body.**

**\* Aged Black Garlic is really working for those who are having a heavy constipation problem**

**\* He and his wife never ever got fever or flu ever since they consume Aged Black Garlic**

**And a mungkin juga meminati:**

**[Breast Cancer Testimony](#)**

**[Black Garlic : Old, Ugly & Delicious](#)**

**[Processed Black Garlic \(Allium Sativum\) Extracts Enhance Anti-Tumor Potency against Mouse Tumor](#)**

**[Aged Black Garlic from Healthy Fellow](#)**

## クアンタン川に注ぐ支流とトタン屋根の民家



こちら側は公園になっていて散歩の途中で、しばし木陰で涼をとった時に、少年が釣りをしていたが釣れませんでした。

暑くて涼をとって昼寝するマレーシアの猫



## ホテル前の道路を横切り最短距離で中華食堂へ



横断歩道は少なく道路を横切るのは大変でした。直接横切るのに真ん中のセーフティゾーンまで急いで進み、一休みし、また一気に。

やっとたどり着いた中華食堂で食べたのは



チャーハンと焼きそばと卵焼きで3リングット(100円)。半路上のテーブルで食事しました。美味しかったです。

工科系のCollegeと書いてあったので大学と思ったが(？)



外観から多分、大学の寮だと思います。

「南シナ海」を見に連れて行ってもらいました



「今はリゾートになっているが、前は・・・」とTariqurが話していた。以前は寒村であったみたい。今はお土産屋も多くありリゾート地区のようです。

12月だが海水浴中でした



海はとてもきれいでした。

本学会で会長をしたTariqur の家族です



Tariqurの家は高台にあり、そのベランダからは海が……

# はるか向こうに市街のビルが見えています (Tariqurのベランダより)



このような光景をみていると、誰でも時に「神」を感じたりすると思う。  
Tariqurは敬虔なイスラム教の信者でもある。

## 淡く灯がともる南国の暮れどき



ホテルのフロントから。ボーとして時間を過ごすことはとても大切です。

帰国のために「クアantanからクアラルンプール」へ



飛行時間はわずか40分位ですが、飛行機がKUL から来ないので1時間も待ちました。国際線乗り換えに時間が3時間あったので間に合いましたが…。

深夜KULを発ち朝7時にようやく成田につきました



まさに夜が明けんとしているところです。眠ったような、眠らないような状態で7時間も乗っているのは、若くない私には大変なことでした。